



ジョイフル

Vol.37
2021.9.24 発行



豊田営業所（知立出張所） 乗務員 **上田 まり子**

豊田営業所（知立出張所）に所属する上田まり子さんは、乗務員として勤務し、南星キャリアックス株式会社を支えています。4人の子どもを持ち、母親としての一面もある上田さん。入社の子っかけや印象に残っている仕事、今後の目標などについて聞きました。

——入社までの経緯を教えてください。

以前働いていたコンビニエンスストアの店舗の閉店を機に、「自分が本当にやりたいことをやろう」と、転職を決意しました。子ども頃から、大きなトラックのドライバーになることが私の夢でした。男性に交じり、頑張って運転をしている女性を見たとき、とても魅力的だと思ったのです。結婚し、子育ても一段落。「職を変えるなら今しかない」と、転職を考えている旨を家族に伝えると、予想

以上に皆が賛成してくれました。特に印象に残っているのは、夫からの「お前ならできる」という言葉です。面接では「家庭も仕事も大事にしてほしい」と言っていたが、非常に良い印象を受け、2019年3月、南星キャリアックスへの入社を決めました。

——念願のドライバーになり、嬉しかった出来事はありますか。

トラックを運転し、信号待ちをしていた際、隣の幼稚園バスに乗っていた園児たちが、嬉しそうに手を振ってくれたことがありました。キラキラとした目でこちらを見ている光景を前に思ったのです。「今度は自分が、子どもたちの夢の1つになっているのかもしれない」と。家族にも背中を押され、転職を決意し、本当に良かったと感じた瞬間でした。

——男性が多い職場に入ってしまったときはどのような心境でしたか。

働く環境において、男性の方が多いという点は特に気になりませんでした。私は、何をやるにしても「男の人に負けたくない」と考えています。男性が多い職場だとしても、その事実が「女性にはで

——印象に残っている仕事について教えてください。

「きない」という意味にはなりませんが。昔からの夢をつかむといった点からも、「女性でも頑張れる」「自身に挑戦したい」と常に考えていました。

——印象に残っている仕事について教えてください。

入社2年目に新たに担当したパンの運送です。業務内容としては、先輩2人とチームを組み、日替わりで工場から物流センターへパンを運ぶというものです。

しかし、運送以外にも、パレットへのパン箱の積み替えなど、やるべき作業は様々ありました。初めての搬送先でわからないことも多かったのですが、先輩方は未熟な私にいつもアドバイスをしてくださいました。「どうすれば効率的な仕事ができるか」と、顔を合わせる度によく話し合ったのも良い思い出です。

——パンの運送経験は、今の仕事にどのような形で生きていますか。

技術面よりも精神面で得たものが多くありました。特に、勤務する中で疑問が浮かべば、誰にでも質問できるように。先輩方のおかげで、人に聞くことに対する抵抗感がなくなっただけです。今となっては、社内はもちろん、出先の現場の方にも積極的に声をかけるようになりました。社員として、また、1人の人間として成長できたと感じています。

——最後に、今後の目標をお聞かせください。

トラックやフォークリフトの運転技術向上を通じ、与えられた仕事を完璧にこなせるようにしていきます。業務の幅を増やすためにも、将来的には大型自動車免許も



取得したいと考えています。「上田に任せれば安心だ」と、他の社員から思ってもらえるよう努力していくことが今の目標です。

働きながら子育てをし、ようやく自身の夢をつかんだ上田さん。楽しさややりがいを感じながら仕事に励む姿に、触発されている社員も少なくないでしょう。これからは南星キャリアックスをさらに飛躍させるための一翼を担っていくに違いありません。

